



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6558 URL <https://corp.cookbiz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪ノ 賢次
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 (氏名) 餌取 達彦 TEL 06-6374-9912
エグゼクティブマネージャー
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	899	57.4	96	126.2	93	111.4	65	142.4
2023年11月期第1四半期	571	—	42	—	44	—	26	—

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 65百万円 (142.4%) 2023年11月期第1四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	23.42	23.31
2023年11月期第1四半期	9.78	9.70

(注) 当社は、2022年11月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	3,514	1,548	42.9
2023年11月期	3,441	1,526	43.2

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 1,507百万円 2023年11月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2024年11月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350	25.7	351	21.1	343	19.5	363	36.0	130.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）特定子会社の異動には該当していませんが、ワールドインワーカー株式会社を連結子会社として、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期1Q	2,792,041株	2023年11月期	2,790,691株
② 期末自己株式数	2024年11月期1Q	7,054株	2023年11月期	7,054株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期1Q	2,783,978株	2023年11月期1Q	2,749,336株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2024年4月12日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、食産業における人手不足に対応する人材サービスであるHR事業、テクノロジーやデータを用いて人手不足を補うDX事業、付加価値の高い事業や商品を有する企業の事業及び経営の再構築を行い、再成長に貢献する事業再生・成長支援の3つの事業を展開しております。

HR事業：主に飲食業界に特化した人材サービス及び特定技能外国人人材紹介・登録支援サービスの展開

DX事業：主に飲食事業者向けアルバイト業務管理クラウドのHR管理SaaSプロダクトであるCAST事業の展開

事業再生・成長支援事業：連結子会社きゅういちによる水産物の冷凍加工業の展開

当社グループのビジョン・ミッション・バリューを基礎として、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた次の10年を「食ビジネスの変革を支援する会社」と定義しています。

人手不足が慢性化している環境下において、HR事業によって食分野への人材流入を促進し、DX事業でテクノロジーやデータを用いて人手不足を補います。また、守るべき食のコンテンツの持続可能性を高めるため、新たに開始した事業再生によって付加価値の高い事業や商品を有する企業の事業・経営の再構築を行い、再成長に貢献いたします。

コロナ前・コロナ禍を比較・分析し、中期的なターゲットKPIを設定の上、2026年～2027年には主要事業であるHR事業の売上規模は40～50億円程度（CAGR25～30%）まで回復・再成長すると試算しています。

これまで支援し続けた「人」を起点に、新たにDXや事業再生を通じて持続可能な食ビジネスのためのエコシステムを提供することで、事業規模の拡大に向けた取り組みを加速させてまいります。

当第1四半期連結累計期間におきまして、主要事業であるHR事業においては、人流の回復とインバウンド需要も増加し、飲食業界の人材採用ニーズはさらに高まっております。従来のHR事業における季節性では、第1四半期は閑散期に該当する期間ですが、前連結会計年度後半以降の求人需要の高まりが継続し、より一層コロナ前の傾向へと復調しております。さらに、求職者の集客においても広告手法を多様化することにより堅調に推移しております。

また、事業再生・成長支援事業であるきゅういち株式会社においては、例年同様に鮮魚の売上が堅調に推移したほか、前連結会計年度末において、東京電力のALPS処理水問題に起因した中国による禁輸影響を受けたものの、当第1四半期連結会計期間より従前のホールセール販売だけでなく、飲食店への販売を強化したり、ECサイトを通じて一般消費者への直接販売を開始しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は899,065千円（前年同四半期比57.4%増）となりました。利益につきましては、業績成長のための採用を強化するとともに効率的な投資に努めた結果、営業利益は96,007千円（前年同四半期比126.2%増）、経常利益は93,182千円（前年同四半期比111.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65,190千円（前年同四半期比142.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①HR事業

HR事業は、クックビズ株式会社において、飲食業界に特化した求人情報サイト「cookbiz」を運営しており、当該サイトを通じて、コンサルタントを介した有料職業紹介を行う「人材紹介サービス」、求人情報を求職者に提供する「求人広告サービス」、ダイレクトリクルーティングサービスを提供する「スカウトサービス」、「採用総合支援サービス」を展開しております。また、当連結会計年度より連結開始となる子会社ワールドインワーカーによる特定技能外国人人材紹介・登録支援等の事業及び研修サービス、CAST事業等を「その他」に分類しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「人材紹介サービス」、「求人広告サービス」、「スカウトサービス」はいずれも求人需要の高まり受け堅調に推移しております。また、「採用総合支援サービス」におきましても、順調に伸長しております。

その結果、当セグメントにおける売上高は532,451千円（前年同四半期比48.9%増）、セグメント利益は35,961千円（前年同四半期はセグメント損失9,051千円）となりました。

※ cookbiz：当社は人材紹介サービス及び求人広告サービスともに「cookbiz」の同一ブランドにて展開しております。

②事業再生・成長支援

事業再生・成長支援は、きゅういち株式会社においてホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を行っております。主に道南エリアの漁業協同組合等から買付を行い、冷凍加工後、商社、大手水産加工会社等へ販売することを主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、南かやべ地域において、フクラゲ、イワシ等の水揚げ量が例年通り安定的に推移したほか、サバが豊漁となり、単価も堅調に推移いたしました。

その結果、当セグメントにおける売上高は366,613千円（前年同四半期比71.6%増）となりました。なお、2022年11月期に連結の範囲に含めたきゅういち株式会社は、前第1四半期連結累計期間においては、2022年10月3日から11月30日までの2ヶ月間の損益を連結しており、当第1四半期連結累計期間につきましては、2023年9月1日から11月30日までの3ヶ月間での連結となるため、前年同四半期比で大幅な増収となっております。セグメント利益につきましては、54,045千円（前年同四半期比5.0%増）となりました。当第1四半期連結会計期間より開始したECサイト運営に伴う発送費用等の諸経費が増加したことにより販管費が増加したものの、堅調な売上伸長により前年同四半期比で増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ73,238千円増加し、3,514,777千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が124,941千円、短期貸付金が120,000千円それぞれ減少したものの、売掛金が168,648千円、のれんが51,751千円、ソフトウェア仮勘定が43,429千円、敷金及び保証金が39,043千円それぞれ増加したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ51,275千円増加し、1,965,912千円となりました。その主な要因は、契約負債が46,331千円減少したものの、短期借入金が99,250千円増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ21,962千円増加し、1,548,864千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が18,634千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2023年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118,796	1,993,854
売掛金	196,564	365,213
未収入金	28,444	13,938
商品及び製品	291,994	263,112
原材料及び貯蔵品	7,495	8,238
短期貸付金	120,000	—
前払費用	22,026	46,441
その他	2,508	4,903
貸倒引当金	△1,280	△263
流動資産合計	2,786,549	2,695,438
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	67,607	67,406
機械装置及び運搬具（純額）	21,680	22,387
工具、器具及び備品（純額）	8,993	9,628
土地	49,733	49,733
リース資産（純額）	15,182	14,339
建設仮勘定	—	47,025
有形固定資産合計	163,198	210,520
無形固定資産		
商標権	1,213	1,180
ソフトウェア	98,394	95,596
ソフトウェア仮勘定	205,924	249,353
のれん	—	51,751
無形固定資産合計	305,531	397,882
投資その他の資産		
関係会社株式	5,000	—
投資有価証券	99,980	99,980
敷金及び保証金	27,020	66,063
繰延税金資産	54,153	44,777
その他	105	115
投資その他の資産合計	186,259	210,936
固定資産合計	654,989	819,338
資産合計	3,441,539	3,514,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,854	21,362
短期借入金	392,750	492,000
1年内返済予定の長期借入金	137,436	137,436
未払金	107,571	126,899
未払費用	78,254	95,360
未払法人税等	55,038	25,414
未払消費税等	4,646	37,105
契約負債	121,622	75,290
賞与引当金	41,193	25,638
返金負債	4,502	5,152
預り金	10,703	19,090
リース債務	3,233	3,302
資産除去債務	—	2,863
その他	—	2,095
流動負債合計	981,806	1,069,012
固定負債		
長期借入金	897,519	867,510
リース債務	13,693	12,843
資産除去債務	11,146	8,284
繰延税金負債	10,472	8,263
固定負債合計	932,830	896,900
負債合計	1,914,637	1,965,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,463	761,253
資本剰余金	753,463	754,253
利益剰余金	△26,362	△7,728
自己株式	△273	△273
株主資本合計	1,487,291	1,507,504
新株予約権	39,611	41,360
純資産合計	1,526,902	1,548,864
負債純資産合計	3,441,539	3,514,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	571,216	899,065
売上原価	160,394	290,428
売上総利益	410,821	608,636
販売費及び一般管理費	368,382	512,628
営業利益	42,439	96,007
営業外収益		
受取利息及び配当金	258	304
受取賃貸料	—	999
利子補給金	1,232	1,246
還付加算金	1,967	—
その他	1,841	250
営業外収益合計	5,300	2,801
営業外費用		
支払利息	3,671	5,627
営業外費用合計	3,671	5,627
経常利益	44,069	93,182
特別損失		
固定資産除却損	150	0
特別損失合計	150	0
税金等調整前四半期純利益	43,918	93,182
法人税、住民税及び事業税	18,728	20,823
法人税等調整額	△1,698	7,167
法人税等合計	17,030	27,991
四半期純利益	26,888	65,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,888	65,190

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	26,888	65,190
四半期包括利益	26,888	65,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,888	65,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

非連結子会社であったワールドインワーカー株式会社の重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	HR事業	事業再生 ・成長支援			
売上高					
外部顧客への売上高	357,513	213,702	571,216	—	571,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	357,513	213,702	571,216	—	571,216
セグメント利益又は損失 (△)	△9,051	51,491	42,439	—	42,439

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR事業	事業再生 ・成長支援			
売上高					
外部顧客への売上高	532,451	366,613	899,065	—	899,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	532,451	366,613	899,065	—	899,065
セグメント利益	35,961	54,045	90,007	6,000	96,007

(注) 1. セグメント利益の調整額6,000千円の内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

前連結会計年度において非連結子会社であったワールドインワーカー株式会社を当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことから「HR事業」においてのれんが増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間において、51,751千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、対象会社の事業再生だけではなく、持続的な成長ができるような経営支援を当社として行っていくための実態をより反映させるべく、セグメント名称を従来の「事業再生」から「事業再生・成長支援」に変更しております。なお、セグメント名称の変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の報告セグメントの名称で記載しております。